

あいち 食品工業技術センターニュース

2016年6月号

今月の内容 ● トピックス

● 技術解説「蛍光X線分析法の特徴と元素分析の活用事例について」

トピックス

● 「食品入門講座2016」を開催しました。

当センターで5月17日（火）、24日（火）31日（火）の3日間にわたり、「食品入門講座2016」を開催しました。

この講座は、食品関連業界に勤めて間もない技術者や技術的な知識を必要とする営業担当者を対象に、基礎知識・技術を習得していただくことを目的として開催しています。お招きした外部講師や当センター職員により、次のテーマについて講義や実習を行いました。

講義：食品の害虫及び異物混入防止対策、食品の安全対策、包装による鮮度保持技術、食品添加物、食品工場における洗浄技術、HACCPの導入、包装材料と包装機械、食品の表示とその科学的検証技術

実習：微生物検査法、食品の官能検査

● 平成28年度 外部資金による研究助成事業に採択されました。

次の2課題が採択されました。（5月31日現在）。平成28年度の特別課題研究として取り組みます。

- (1) 高吸着性セラミックスを活用した清酒品質安定化技術の開発 [内藤科学技術振興財団]
- (2) 大豆発酵食品でイソフラボンアグリコン生成に寄与する β -グルコシダーゼ遺伝子の探索 [タカノ農芸化学研究助成財団]

● 平成28年度「新あいち創造研究開発補助金」の採択案件が決定されました。

本県では、産業空洞化に対応するため「産業空洞化対策減税基金」を原資として、企業立地及び研究開発・実証実験を支援する制度を創設し、平成24年度から運用しています。

このうち、企業等が行う、健康長寿、次世代自動車や航空宇宙などの将来成長が見込める分野の研究開発・実証実験を支援する「新あいち創造研究開発補助金」について、119件の応募があり、86件を採択することが決まりました。交付額合計は7億6千万円（予定額）です。このうち食品関連事業で採択された案件は下記の8件でした。

平成28年度 新あいち創造研究開発補助金採択案件リスト

企業名	所在地	事業の名称
イチビキ(株)	熱田区	安価でエビデンスの確かな日本人に適した「みそ由来菌素材」の研究
興和(株)	中区	最新植物工場での環境・養液コントロールによる機能性野菜の研究開発
株J-STYLE	小牧市	ホタテ貝殻焼成物の新規抗菌メカニズムに関する研究開発
品野セラミックタイル工業(株)	瀬戸市	消臭・抗菌高機能タイルの研究開発
株真誠	北名古屋市	製造副産物であるゴマ種皮を用いた健康増進機能を有する新規食品素材
MICS 化学(株)	東郷町	食品廃棄量削減へ貢献できる包装資材用プラスチックフィルムの研究開発
(有)森山環境科学研究所	中村区	「微小コロニー法」を用いた迅速検査装置に関する実証実験
ヤマサちくわ(株)	豊橋市	愛知県内の未利用魚の魚肉練り製品への有効活用に関する研究開発

* 食品関連部門を抜粋 企業名五十音順

●平成28年度「あいち中小企業応援ファンド」第2回募集がまもなく始まります。

あいち中小企業応援ファンドは、地域経済に密接な愛知県内の鉱工業品及びその生産に係る技術、農林生産物、観光資源（以下、地域資源）を活用した中小企業の新事業展開を図るため、国（独立行政法人中小企業基盤整備機構）と県の資金に加え、地域の金融機関の資金協力の下、公益財団法人あいち産業振興機構に造成した基金の運用益で助成事業を実施し、地域の活性化、産業の一層の活性化を図り、本県全体の底上げにつなげていくことを目的としています。

<助成対象分野>

- ① 「地域産業資源活用応援ファンド」
県内の地域産業資源を活用した新事業展開
- ② 「モノづくり応援ファンド」
次世代成長産業分野及び地場産業分野での地域資源を活用した新事業展開
- ③ 「農商工連携応援ファンド」
あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う地域資源の農林水産物を活用した新事業展開

<募集期間>

平成28年6月29日（水）から平成28年7月29日（金）まで

<地域資源の定義>

- ① 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物または鉱工業品
- ② 特産物となる鉱工業品の生産にかかわる技術
- ③ 地域の観光資源として相当程度認識されているもの

詳しい内容等につきましては、機構ホームページ <http://www.aibsc.jp> をご覧ください。